



中津市監査委員告示第 15 号

地方自治法第 199 条第 7 項の規定により、令和 2 年度財政支援団体監査の結果を別紙のとおり公表する。

令和 2 年 6 月 30 日

中津市監査委員 永 松 末 利

中津市監査委員 林 秀 明

財政援助団体監査結果報告書

1. 監査の対象及び監査の期間

監査の対象		監査の期間
三光コスモス祭り実行委員会	左記の財政援助団体が令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）に本市から交付を受けた補助金に係る出納その他の事務	令和2年6月1日～令和2年6月30日
やまくにかかしワールド実行委員会		

2. 監査を実施した監査委員

永松 末利 ・ 林 秀明

3. 監査の方法

監査にあたっては、監査の対象の財政援助団体及び当該補助金を所管する部課に係る出納その他の事務の執行が適正に行われているかどうかについて、書面監査及び関係者からの説明聴取により実施した。

4. 監査の着眼点

補助金の交付目的及び補助対象事業の内容は明確か、交付額及びその時期、方法、手続きは適正であるか、財政援助団体への指導監査は適切に行われているか、また、財政援助団体における支出の会計経理は適正か、領収書等の証拠書類の整備は適切か、補助事業が計画的且つ、交付条件に従って実施され、十分な効果が挙げられているか等に重点をおき監査を実施した。

5. 監査の結果

財政的援助に係る出納その他事務の執行について監査した結果は、次のとおりである。

各事業は公益性、公平性、有効性があり事業計画及び補助金交付条件に沿って実施され、公益事業として一定の効果を示し、概ね適正に事業の執行及び事務処理が行われていた。

しかしながら、一部の事務に改善を要する事項が見受けられたので、以下の指摘事項について十分検討し、措置状況の具体的結果を令和2年7月29日（水）までに所管課より文書にて報告されたい。

また、そのほか口頭で指導した事項についても十分検討し、改善に努められたい。

なお、今回の監査は、財政援助団体を対象に行ったものではあるが、所管する担当課の指導体制等に不十分な点が見受けられたので、事務の改善を要望するとともに、あわせて交付団体への指導の強化を図られ、今後の事務処理に万全を期されたい。

【三光コスモス祭り実行委員会】

(1) 補助金等名 中津市観光イベント支援補助金

(2) 所管部局・課 三光支所地域振興課

(3) 財政援助の目的

当補助金は、三光コスモス園の特設会場にて、コスモス祭りを開催し、農産品・特産品の販売や三光地域等の文化などを広く情報発信するイベントの実施に要する経費を市が補助することにより、三光地域の活性化及び観光振興を図ることを目的としている。

(4) 事業の概要

I. 事業費 9,022,543円

II. 事業内容

「三光コスモス祭り」開催期間：令和元年10月13日（日）～27日（日）
三光地域の営農組合やボランティア（552人）の協力により、西日本最大級の約16haの水田に約2,800万本のコスモスを栽培。
三光コスモス園は、小・中学生による「コスモスアート」、色とりどりのコスモスが咲き乱れる「繚乱エリア」、地元特産品等を販売する「コスモスマルシェ」、土曜・日曜日には、伝統芸能等のステージ出演による「開園祭」、「コスモス切り花体験」、「絶叫大会」、「フォトコンテスト」など各種イベントを実施し、三光地域の活性化及び観光振興を図った。
(来場者数 約11万3000人)

III. 財政援助額 6,300,000円

(5) 監査の結果

I. 団体に対する事項

(指摘事項)

① イベント出演者等に、会場の出店で使用できる金券（300円）を配布しているが、金券に発行番号を記載しておらず、管理が不十分である。

金券の管理について、発行番号の記載や管理簿の作成などの見直しを求める。

② 市内及び大分・福岡両県の近隣市町村に向け、イベントのチラシを新聞折込しているが、市内においては、市報にて「三光コスモス祭り」の特集ページが広報されており、市民の認知度は高いと思われる。

チラシの新聞折込を行うエリアの見直しやフリーペーパーの広告掲載など、より良いイベントの広報についての検討を求める。

③ イベント会場の設営費、駐車場整備費や警備費用などの経費がかかることから、募金、企業協賛、寄附金などを検討し、自助努力の推進を図ることを求める。

④ 実行委員会の収支決算書について、収支の残額をすべて、翌年度の繰越金としているが、コスモス祭りに係る雑入は、補助対象の支出（会場設営費など）に伴う、補助対象の収入として計上すべきと考えます。

収支決算書の修正及び補助金の精算を求める。

II. 所管課に対する事項

(指摘事項)

①補助事業終期を、令和2年3月31日としているが、イベントは10月27日まで、フォトコンテストは12月9日までで、事業経費の支出事務についても令和2年1月16日には終了している。

令和2年3月17日は会議を行っただけで、事業経費の支出もないことから、補助事業の終期の見直し及び速やかな実績報告書の提出指導を求める。

②補助金の額の確定は、実績報告書の収支決算書等を適確に審査したうえで行われなければならないが、収支の残額をすべて翌年度の繰越金にするなど、補助金の交付確定額の一部に誤りがあった。

補助金の額の確定にあたっては、精査確認のうえ、適正な事務処理を求める。

【やまくにかかしワールド実行委員会】

(1) 補助金等名 中津市観光イベント支援補助金

(2) 所管部局・課 山国支所地域振興課

(3) 財政援助の目的

当補助金は、山国地域の団体等が製作した「かかし」を町内のいたる所に設置し、田舎の風景による懐かしさや癒しを醸し出す「やまくにかかしワールド」を開催し、そのイベントの実施に要する経費を市が補助することにより、山国地域の活性化及び観光振興を図ることを目的としている。

(4) 事業の概要

I. 事業費 4,356,515円

II. 事業内容

「やまくにかかしワールド」開催期間:令和元年10月27日(日)～11月24日(日)
山国の地域や団体が、それぞれのアイデアやその年の出来事など思いを込めて制作した「かかし」を町内10会場に約450体設置。

期間中の土曜・日曜日には、伝統芸能等のステージ出演による「オープニングイベント」、「さるとび紅葉まつり」、「運命のわなげ」、「スタンプラリー」など各会場で、さまざまなイベントや地元特産品の販売を実施し、山国地域の活性化及び観光振興を図った。

(来場者数 約4万3000人)

III. 財政援助額 4,356,515円

(5) 監査の結果

I. 団体に対する事項

(指摘事項)

①実行委員会の経理規程等は、中津市契約規則や会計事務規則等を準用しているが、10万円以上の委託料、物品購入、印刷製本費について、複数者の見積り執行や請書又は契約書の作成をしておらず、1者見積りの執行であった。

中津市契約規則等を順守し、複数者の見積り執行による経費節減など見直しを求める。

②チラシに記載されているマップ及びイベント・出店情報について、一部イベントの場所がわかりにくい表記となっているため、マップとイベント情報の記事に記号を入れるなど、一目でわかる表示の表記を求める。

③市内及び大分・福岡両県の近隣市町村に向け、イベントのチラシを新聞折込しているが、市内においては、市報にて「やまくにかかしワールド」の特集ページが広報されており、市民の認知度は高いと思われる。

チラシの新聞折込を行うエリアの見直しやフリーペーパーの広告掲載など、より良いイベントの広報についての検討を求める。

④平成30年度のアンケートに、スタンプラリーが好評であったり、かかしがすこし少なくなったなどの感想が記入されていたが、令和元年度はアンケート用紙を設置していなかった。

今後のイベントの内容の充実を図るため、イベント参加者の感想の聴き取りや各会場にアンケート用紙の設置を求める。

⑤一部のイベント会場で、輪投げなどのゲームやくじ引きを無料で行い、全員に参加賞を配布し、ゲームの上位者などに特産品等を贈呈している。

イベント参加券を有料にする又は出店で地元の商品を購入した人にゲームの参加券を配布するなど、地域の特産品が購入されるような仕組みについての検討を求める。

II. 所管課に対する事項

(指摘事項)

①令和2年2月17日に補助金の実績報告書及び額の確定通知が行われているが、所管課が補助金の返還命令を出さないまま、令和2年5月13日に実行委員会が補助金の精算を行っていた。

補助金の確定後は、速やかに返還命令を行い、補助金の精算を行うことを求める。

②この補助金は、観光イベントの支援であり、近年の参加団体や来場者数は、平成29年度（13団体）約66,800人、平成30年度（12団体）約57,200人、令和元年度（10団体）約43,000人と年々減少している。

各会場の魅力を高めるイベントの内容の充実について、かかし教室やターゲットを絞った参加団体の募集方法を実行委員会と十分協議することを求める。

また、市内外の観光スポットと連携した誘客を図る取組などの検討を求める。